

お読みください

Mac 版 Pro Tools 8.0.3

Pro Tools HD、Pro Tools LE、Pro Tools M-Powered、Pro Tools M-Powered Essential システム用

この文書は、重要な互換性、確認されている問題、エラーコード、Mac OS X 10.6.0 および 10.6.1 (Snow Leopard)、10.5.5、10.5.6、10.5.7 を使用した Avid 推奨コンピュータ上の Pro Tools LE 8.0.3 用ガイドの訂正を記述しています。

互換性

Avid は、Avid が推奨するハードウェアとソフトウェアの構成に対してのみ互換性を保証し、サポートを提供します。



Avid が推奨するコンピュータ、オペレーティング・システム、サードパーティー製品などの最新の互換性については弊社のウェブサイト (www.Avid.com) をご覧ください。

リリース・ノート

以下に、Pro Tools 8.0.3 を使用しているときに起こりえる問題とその回避方法を記述します。

キーボード・ショートカットを使った編集ツールの選択が一定しない (項目 #88083)

Pro Tools の以前のバージョンでは、意図せず同じキーボード・ショートカットを 2 度押して編集ツールのタイプを変更してしまうことがありました。これを回避するため、[オプション]メニューに[編集 / ツール モード キーボード ロック]が追加されました。このオプションを選択すると、キーボード・ショートカットを使ったツールのタイプの変更ができなくなります (たとえば ノーマル・トリマーからスクラブ・トリマーへの変更)。ただし、従来通りマウスや右クリックを使ってツールのタイプを変更することはでき、キーボード・ショートカットを使って別のツールへ切り替えこともできます (グラバーからトリマーへの切り替えなど)。このオプションは、以下の編集モードとツール・モードに適用されます。グリッド、ズーム、トリム、グラバー、ペンシル。

DigiBase Databases が、ボリュームの指定にかかわらず、表示されているすべてのボリュームに作成される (項目 #117627)

Pro Tools 8.0.3 から、各ボリューム用の Digidesign Database ファイルがシステム・ドライブの / ライブラリ / Application Support/Digidesign にのみ保存されます。この変更の利点は、マウントされたすべてのボリュームにデータベースのファイルが作成されなくなったことで、Pro Tools が起動している間でも特定のボリュームを OS から切り離すことができ、一部の共用記憶システムで読み書きの権限を変更したときに起こりえる不正が解決されました。これによって、1 つのドライブをあるシステムから別のシステムへ移動したときは、ボリュームのインデックスを維持するために Digidesign Database ファイルコピーする必要があります。別のシステムで Pro Tools を起動する前に、上記の場所にある Digidesign Database ファイルを別のシステムの同じ場所へコピーしてください。また、別の Pro Tools システムでボリュームのインデックスを作り直すこともできます。ボリュームのルート階層にある旧 Digidesign Database ファイルは、Pro Tools 8.0.3 で削除しても問題ありません。ただし、旧 Pro Tools システムでハードドライブを共有していたユーザーは、旧 Digidesign Database ファイルを保存しておいた方がよい場合があります。

[以後表示しない] オプションをいくつかのエラー・ダイアログと警告ダイアログへ追加 (項目 #119037)

Pro Tools 8.0.3 では、いくつかの一般的なエラー・ダイアログと警告ダイアログに [以後表示しない] オプションが追加されました。エラー・ダイアログのこのチェックボックスを選択すると、Pro Tools はそのダイアログや警告を以後表示しません。この設定はシステムに保存されます。このオプションが選択されたダイアログのリストは、[設定][初期設定][表示]の[[以後表示しない]設定をリセット]の横にある [リセット] ボタンをクリックすると、いつでもリセットできます。

一部の機能のショートカットが動作しない (項目 #119423)

リモート・モードのオン / オフを切り替えるキーボード・ショートカットと LTC 生成のオン / オフを切り替えるキーボード・ショートカットが追加されました。

- ・ リモート・モードをオンまたはオフにするには、Ctrl+Opt+Cmd+J (Mac) または Ctrl+Win+Alt+J (Windows) を押ししてください。
 - ・ ICON を使っている場合は、[9-pin Remote] スイッチを使ってください。
- ・ LTC 生成 (GEN LTC) をオンまたはオフにするには、Ctrl+Cmd+J (Mac) または Ctrl+WinJ (Windows) を押ししてください。

[QuickTime 再生の優先度] 初期設定は不要 (項目 #117243)

[初期設定]>[操作]の[QuickTime 再生の優先度]は削除されました (CPU の性能の向上に伴って必要なくなりました)。

確認されている問題

システム環境設定にリストされる古い [Digi CoreAudio Device] (#119107 項目)

Macintosh の [システム環境設定]>[サウンド]>[出力]/[入力] パネルに [Digidesign CoreAudio Device] という名前の項目が表示される場合があります。これは無視して、実際の Pro Tools デバイス (Digidesign MBox2 Pro など) がリストされたオプションを選択してください。

CoreAudio の設定とサードパーティーのアプリケーション (項目 #119548)

Digidesign CoreAudio Manager は、現在のところサードパーティーの DAW のエンジンの設定を正しく認識できません。

Pro Tools のハードウェアと他の DAW を使用するときは以下を行ってください。

- 1 Digidesign CoreAudio Manager を起動し、目的の設定を行う。
- 2 使用する DAW を起動し、同様にエンジンの設定を行う。

日本語版 : Command+Space はレコーディングを開始せず、IME を切り替える (項目 #118957)

キーボード・ショートカットの Command+Space は、OS X 10.6.x 上ではレコーディングを開始 / 停止しません。Command+Space は言語の入力方法を切り替えます (複数の言語を使用するようシステムが設定されている場合)。

解決方法は :

- ・ F12 またはテンキーの [3] を使用する (テンキーはトランスポート・モードでなければなりません)。F12 は、[システム環境設定]>[Exposé と Spaces]>[Exposé] でデフォルトの機能 (Dashboard を隠す / 表示する) のアサインを解除する必要があります。
または
- ・ IME 切り替え用の Command+Space ショートカットをオフにする。これは [システム環境設定]>[キーボード]>[キーボード ショートカット]>[キーボードと文字力]で行えます。

QuickTime ムービーがある場合のオーディオのレコーディング中のエラー (項目 #119602)

2008 年に製造された MacBook と MacBook Pro の一部は、QuickTime ムービーを含むセッションでオーディオをレコーディングしているときにエラーを報告する場合があります。たとえば Macbook Penryn の場合、DV25 Quicktime ファイルを持つセッションで少量のオーディオ (1 ~ 16 ステレオ・トラックなど) を低い H/W パッファ設定 (64 ~ 256 の間) でレコーディングすると、様々なエラー (-9128、-9073、-6093、または -6086 など) が発生する場合があります。パッファを 512 以上にすると、この問題を軽減することができますが、それでも最初のレコーディングではエラーが発生する場合があります。

ビデオをスクラブするとウィンドウの断片が残る (項目 #119626)

[ビデオウィンドウでのスクラブ] がオンになっている場合は、ビデオ・ウィンドウが開いていないときに Quicktime ムービーまたは Avid ムービーをスクラブすると、ビデオ・ウィンドウの断片が残ります。これを回避するには、ビデオ・ウィンドウが編集ウィンドウの境界からはみ出さないようにしてください。最も安全なのは、編集ウィンドウを最大化しておくことです。

これは単なるデスクトップの再生では起きません。また [ビデオウィンドウでのスクラブ] がオンで、ビデオが画面上に表示されている状態でスクrubした場合は起きません。

Pro Tools 8.0.3 をインストールするときに [インストール先を変更] オプションが誤って表示される (項目 #119843)

OS X 上に Pro Tools 8.0.3 をインストールするときに、インストールの種類段階で [インストール先を変更] オプションが表示されます。このオプションは表示されるべきものではありませんので、無視してインストールを続けてください。このオプションを選択すると、インストーラーは自動的に次の段階へ進みます。

互換性

Keyspan USA-28X は Snow Leopard 未対応 (項目 #116837)

USA-28XG Tripp Lite (Keyspan) Twin Serial Adapter は、OS X 10.6 上で Pro Tools 8.0.3 の MachineControl™ オプション (ドライバのバージョン 2.6) と共に使えることをテストし動作を確認しました。以前の Keyspan USA-28X は OS X 10.6 上で機能するかもしれませんが、OS X 10.6 上で正式に対応しているのは USA-28XG だけです。以前の USA-28X は OS X 10.6.x 上で機能するかもしれませんが、正式には対応していません。

Logic Pro 9.0 (および 9.0.2) を DAE クライアントとして起動すると DigiStreamManager と衝突する (項目 #118939)

Pro Tools 8.0.3 は、現在のところ Logic を DAE クライアントとして使用できません。DAE が有効な状態で Logic を起動しようとするとシステムがクラッシュします。

AIR プラグイン : Mac OS 10.6.x 上のプラグイン・ウィンドウが黄色になる (項目 #113550、113163)

概要 : 以下の AIR パーチャル・インストールメントは Snow Leopard 上で完全に機能しますが、ユーザー・インターフェースが黄色になります。

- ・ Hybrid™
- ・ Strike®
- ・ Structure®
- ・ Velvet®

この問題は現在調査中です。

Pro Tools ガイドの訂正

以下は、以前の Pro Tools の文書に対する訂正です。

ビデオ・サテライトを表示する D-Control のショートカット (項目 #118233)

Pro Tools 8.0 の文書では、接続されたビデオ・サテライトを D-Control から表示するショートカットが誤って記述されていました。「[Automation] セクションの [Modes] ボタンを使用する」と記述されています。

訂正 :

正しくは「[Edit] セクションの [Modes] ボタンを使用する」です。

